

審議した主な議案

令和5年度一般会計予算

(概要は1面に掲載)

審議された主な内容は、高齢者の積極的な社会参加及び地域交流を促すための高齢者補聴器購入費助成事業に要する経費(97万6千円)、持続可能な公共交通の実現を目指すための公共交通施策に要する経費(9千517万5千円)、子どもオンブズパーソン活動報告会、全国自治体シンポジウム2023小金井等を開催する子どもの権利推進に要する経費(2千35万3千円)、小学校の増改築及びトイレ改修など快適で十分な安全性及び衛生的な環境を備えるための学校施設整備に要する経費(2億8千329万7千円)などです。

反対討論 (要旨)

片山かおる (子どもの権利)
白井市長は専断処分の違法性は治癒されたと主張。廃園方針に基づく予算で市長の公約に反する。障害者手当過支給への不手際や教育メタバースの情報が公開されないなどコンプライアンスの欠如、保育園補助金不正受給への甘い対応、市庁舎建設の早期竣工に向けた設計見直しがないことなどから反対する。

賛成討論 (要旨)

遠藤百合子 (自民党・信頼)
市民生活に必要な不可欠な予算や、自治体DXを進める意思があること、公共施設マネジメント基金積み増しや駅周辺のまちづくりに必要な予算が組み込まれている点を評価する。多くの課題を抱える市政の施

行に対し、計画的に取り組み、職員の意欲向上を心掛けるよう要望し、賛成討論とする。

反対討論 (要旨)

水上洋志 (日本共産党)
第1に市民生活支援が不十分であり、黒字分を活用し更に支援を強化すべきであること。第2に保育園廃園などの市長の政治姿勢に問題があること。第3に民設民営学童など政策形成が不十分のままの予算提案となっていること。第4に消防団の問題などコンプライアンスの問題があることなどから反対する。

賛成討論 (要旨)

岸田正義 (みらい)
要望した施策が多く予算化されたことは評価するが、新庁舎等建設を進める予算がないことは遺憾。予算審議で判明した建物価値高騰の影響は同じ設計でも令和3年11月の工事費90億円に比べ、今年1月で99億円、来年4月では102億円、110億円と推計され影響を最小限に留めるためにも早期の着工を強く求める。

賛成討論 (要旨)

宮下誠 (公明党)
相談支援と経済的支援を一体として実施する伴走型の出産子育て応援事業や、出産育児一時金50万円のほか、高校3年生までの医療費助成が4月から始まり10月からは所得制限が撤廃されること、小中学校のトイレの洋式化率が74%へ向上すること等、会派として提案・推進してきた政策が実現する。

賛成討論 (要旨)

安田けいこ (生活者ネット)
新たに若者討議会が設置されることを評価する。若者を所管する課を作ることで及び学校での主権者教育の推進を求める。全国自治体シンポジウムは子どもの権利条例を生かしたまちづくりのために市民参加を進めることを要望する。有機フッ素化合物の地下水汚染を調査し、市として対応することを強く求める。

賛成討論 (要旨)

坂井えつ子 (緑・つながる)
新庁舎建設は現設計で早期に建設することを求めてきた。建設に向けた予算が入っておらず遺憾である。5月には、建設を進めるための説明を求める。「民設民営学童」など予算の提案をするには、政策の熟度が低いものがあつた。白井市長が十分な説明を果たせるよう熟度を高めてからの提案を求める。

市立保育園の在り方検討委員会設置条例

(概要は1面に掲載)

反対討論 (要旨)

沖浦あつし (みらい)
市が果たすべき役割の具体化の議論は否定しないが、その議論が、現行の条例や新たな保育業務の総合的見直し方針を後戻りさせるものであってはならない。諮問内容や協議範囲が不透明、実質6か月の超短期協議の影響が未整理では、その懸念を拭えず、本議案に反対する。

賛成討論 (要旨)

高木章成 (子どもの権利)
西岡前市長の下「新たな保育業務の総合的な見直し方針」が明らかになり市の保育行政は混乱を極めてきた。混乱收拾へ専門家の意見聴取や保護者・公募を含めた場を持つのは有益だが廃園方針を公約どおり撤回すべ

き。発足前に全面撤回されることを、よもや白紙諮問による丸投げなどされぬことを強く求める。

反対討論 (要旨)

渡辺ふき子 (公明党)
喫緊の課題である小金井市全体の保育施設を対象とした保育の質の向上のため「すこやか保育ビジョン」に込められた「全ての子どもが等しく健やかに育つ保育環境の実現」を目指し、市立保育園と民間保育園が協力して施策の推進を図って欲しい。市立保育園の在り方を検討する新たな会議体設置は必要ない。

賛成討論 (要旨)

森戸よう子 (日本共産党)
これまで小金井市の怠慢と認識の希薄さにより、公立保育園の役割の定義を明確化してこなかった。今回は正すことは意義がある。保育をめぐる環境は急激に変化しており、セーフティネットなどの役割が高まっている。この条例が否決されても、在り方の検討を追求することを求める。

賛成討論 (要旨)

水谷たかこ (こがおも)
セーフティネットや支援の必要な親子の受け入れ等、市立保育園には重要な役割がある。2015年に保育検討協議会が最終意見書を提出して以降、市はその役割について議論してこなかった。今こそ、有識者や関係者のみならず市民を巻き込み、市全体の保育の質の維持向上に向けた仕組みづくりが必要だ。

賛成討論 (要旨)

令和3年度一般会計歳入歳出決算の認定について
令和4年9月1日の本会議において、議長を除いた全議員で構成する決算特別委員会(吹春やすたか委員長)に付託しまし

反対討論 (要旨)

たが、令和4年第3回定例会において、委員会の審査を中断し、継続審査としていたため、委員会の日程を3日間に短縮して審査を再開しました。2月15日の委員会では起立採決の結果、起立少数により、不認定すべきものと決定しました。2月17日の本会議では、起立採決の結果、起立少数により、不認定としました。

であると考えている。しかし、現在の政府自民党に緊急事態条項を適用させることは非常に危険であり、現政権である限り、同条項の策定には反対である。一歩間違えた運用をされると取り返しのつかない重大な結果をもたらす可能性のある劇薬を任せることはできない。

賛成討論 (要旨)

有機フッ素化合物(PFAS)による地下水汚染から国民の健康を守る取組を求める意見書
吹春やすたか(自民党・信頼) 国は自治体や住民の不安の声から「PFAS」に対する総合戦略検討専門家会議を設置しPFOSを要監視項目に規定した。結果、水道水は暫定値を大きく下回り、水道局は検査結果をHPで公表している。意見書の要望を国や都に求める必要性は極めて乏しいと考える。

反対討論 (要旨)

性的少数者への差別を解消するための法制度を求める意見書
河野麻美(自民党・信頼) 性の多様性に関する社会の理解が進んでいない現状において、新たな規制を設けると予期せず加害者となる人を作る可能性やかえって当事者が孤立する結果を招く恐れがある。差別を撤廃することは重要だが、まずは現行の法制度を尊重しつつ、網羅的に理解増進を目的とした施策の充実を目指すべきである。

賛成討論 (要旨)

緊急事態に関する国会審議等を求める意見書
斎藤康夫(市民会議) 緊急事態条項そのものは必要

反対討論 (要旨)

であると考えている。しかし、現在の政府自民党に緊急事態条項を適用させることは非常に危険であり、現政権である限り、同条項の策定には反対である。一歩間違えた運用をされると取り返しのつかない重大な結果をもたらす可能性のある劇薬を任せることはできない。

であると考えている。しかし、現在の政府自民党に緊急事態条項を適用させることは非常に危険であり、現政権である限り、同条項の策定には反対である。一歩間違えた運用をされると取り返しのつかない重大な結果をもたらす可能性のある劇薬を任せることはできない。

賛成討論 (要旨)

命と健康を汚染被害から守る、不安を払拭するために、あらゆる井戸の地下水の水質調査、汚染が確認された場合の使用停止、汚染の除去、近隣住民の血液検査、汚染原因の究明、適切な情報提供、暫定目標値の適切な見直しを行うことについて、国や都に実施を求めること、そして市としても行うことも求める。

賛成討論 (要旨)

たゆ久貴 (日本共産党)
命と健康を汚染被害から守る、不安を払拭するために、あらゆる井戸の地下水の水質調査、汚染が確認された場合の使用停止、汚染の除去、近隣住民の血液検査、汚染原因の究明、適切な情報提供、暫定目標値の適切な見直しを行うことについて、国や都に実施を求めること、そして市としても行うことも求める。

賛成討論 (要旨)

広報協議会を 開催しました
【3月23日】
▼1 委員の選出について
▼2 各部会の状況報告について

引き続き審査する案件

厚生文教委員会
開催日時：4月25日(火) 午前10時
審査案件：1件

建設環境委員会
審査案件：1件

※委員会等の映像については、YouTubeで中継・録画配信しています。

庁舎等建設及び公共施設マネジメント推進調査特別委員会
審査案件：1件

行財政改革推進調査特別委員会
審査案件：1件

※各委員会の審査案件は、二次元コードをスマートフォン等で読み取ると、ご覧いただくことができます。

新委員長の紹介
総務企画委員会の委員長を選出しました。



わたなべ だいそう
渡辺 大三

各案件に対する討論の原稿は、議員が作成しています。

※紙面の都合により、審査案件の掲載は省略しています。